

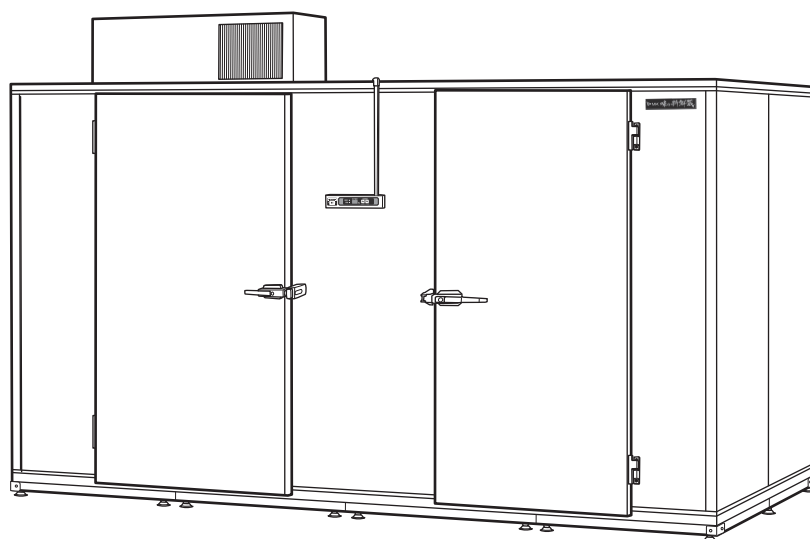
玄米低温貯蔵庫



味の新鮮蔵

取扱説明書

ARS-11000D



もくじ

安全のために必ずお守りください	1～2	その他のご注意	10
各部のなまえとはたらき	3～4	運転のしかた	11
ご使用方法		安全押棒の使いかた	12
貯蔵するときのご注意	5	庫内灯の使いかた	12
精米をするときのご注意	6	点検とお手入れのしかた	13
運転する前に知っておいていただきたいこと	6	こんな表示が出たときは	14
霜取りについて	7	修理を依頼されるまえに	15～16
結露について	7	仕様	17
玄米袋について	8	主要寸法図	18
玄米袋の積み込みかた	9	アフターサービスと保証について	裏表紙

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

保証書別添付



安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示します。必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。



注意

取り扱いを誤ると、障害または物的損害などが発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し説明しています。



してはいけないこと(禁止)を示します。



必ずすること(強制)を示します。

警告



必ず実施

- 定格15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。
感電・火災の原因になります。
- 漏電遮断機を必ず取り付ける。
(定格電流 15A
定格感度電流 30mA)
感電・火災の原因になります。
- 製品の運転・停止は専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)でおこなう。
感電・ショートの原因になります。
- 延長コードを使用するときは、太さ2mm²以上、長さ10m以下にする。
発熱による火災の原因になります。
電圧降下により、正常に作動しない原因になります。
- 電源プラグはホコリが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込む。
感電・ショートによる火災の原因になります。
1カ月に一度電源プラグを抜き刃部のホコリを取り除いてください。
- 設置は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。
ご自分で設置されますと、感電・転倒事故・火災・水もれの原因になります。



水ぬれ禁止

- 製品に直接水をかけたり、雨水をあてない。(屋外や湿気の多い場所・水のかかる場所で使用しない。)
感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。



分解禁止

- お客様で自身で分解したり修理・改造は絶対しない。
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。
修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電の原因になります。



禁止

- 電源コードや電源プラグは傷んだまま使わない。
感電・ショートによる火災の原因になります。
1カ月に一度電源コードや電源プラグがネズミなどにかじられるなどして、傷んでいないか確認してください。
- 電源はタコ足配線にしない。
発熱による火災の原因になります。
- 電源コードを持って電源プラグを抜かない。(必ず電源プラグを持つ。)
電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っばったり、重いものをのせたり、加工したり、足に引っ掛かるような状態にしない。
電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。
- 可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置しない。
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- 揮発性・引火性のある薬品は庫内へ入れない。(シンナー・ベンジン・LPガスなど)
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- 可燃性スプレーやシンナーなど可燃物を製品の近くで使用しない。
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。

警告



必ず実施

- 扉は常に施錠する。
子供が中に入り閉じ込められると、酸欠により死亡するなど事故の原因になります。
- 移設は専門業者か販売店に相談する。
設置不備があると感電・火災・水もれなどの原因になります。
- この製品を廃棄するときは、専門業者に依頼する。
放置しますと子供が中に閉じ込められるなど事故の原因になります。
また、不法投棄は法律により罰せられます。



禁止

- 扉を閉じて作業しない。
酸欠により死亡するなど事故の原因になります。
- 子供を近くで遊ばせない。
- 上にのったり、扉にぶらさがらない。
転落や製品転倒などによるケガの原因になります。
- 上に物(特に重量物)を置かない。
置いた物が落下してケガをしたり、重量物で製品が変形する原因になります。
- 凝縮器フィン・排熱口などから針金、ピンなどの異物を入れない。
感電・ケガ・故障の原因になります。

注意



必ず実施

- 扉の開閉は他の人がさわっていないことを確認し、取っ手を持っておこなう。
手や指をはさみ、ケガの原因になることがあります。
- 床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。
設置に不備があると転倒によるケガ・水もれ・冷気もれなどの原因になることがあります。
- ドレンホースを確実に取り付ける。
水もれにより貯蔵物を湿らせたり、感電やショートの原因になることがあります。
 - ・ドレンホースが確実に取り付けられているか、先が曲がっていたり水受けにたまった水の中に入っていないか確認してください。
 - ・ペットボトルや一升ビンなどの口の小さいものは、水受けとして使用しないでください。
 - ・水受けにたまった水は、いっぱいになる前に捨ててください。



禁止

- 凝縮器フィン・排熱口をふさがない。
吸排気が妨げられ冷却能力が低下して庫内が冷えなくなったり、故障の原因になることがあります。
- 冷氣吹き出し口・戻り口に手を入れない。
ファンや冷却器フィンでケガの原因になることがあります。
- 扉を下から持ち上げない。
扉がはずれてケガをするおそれがあります。
- 床がぬれてはいけない場所には設置しない。
湿度の高いときには製品の外側や扉回りに結露した露が滴下し床面をぬらす原因になることがあります。



接触禁止

- 掃除をするときなど凝縮器フィンを直接手でさわらない。
ケガの原因になることがあります。



電源プラグを抜く

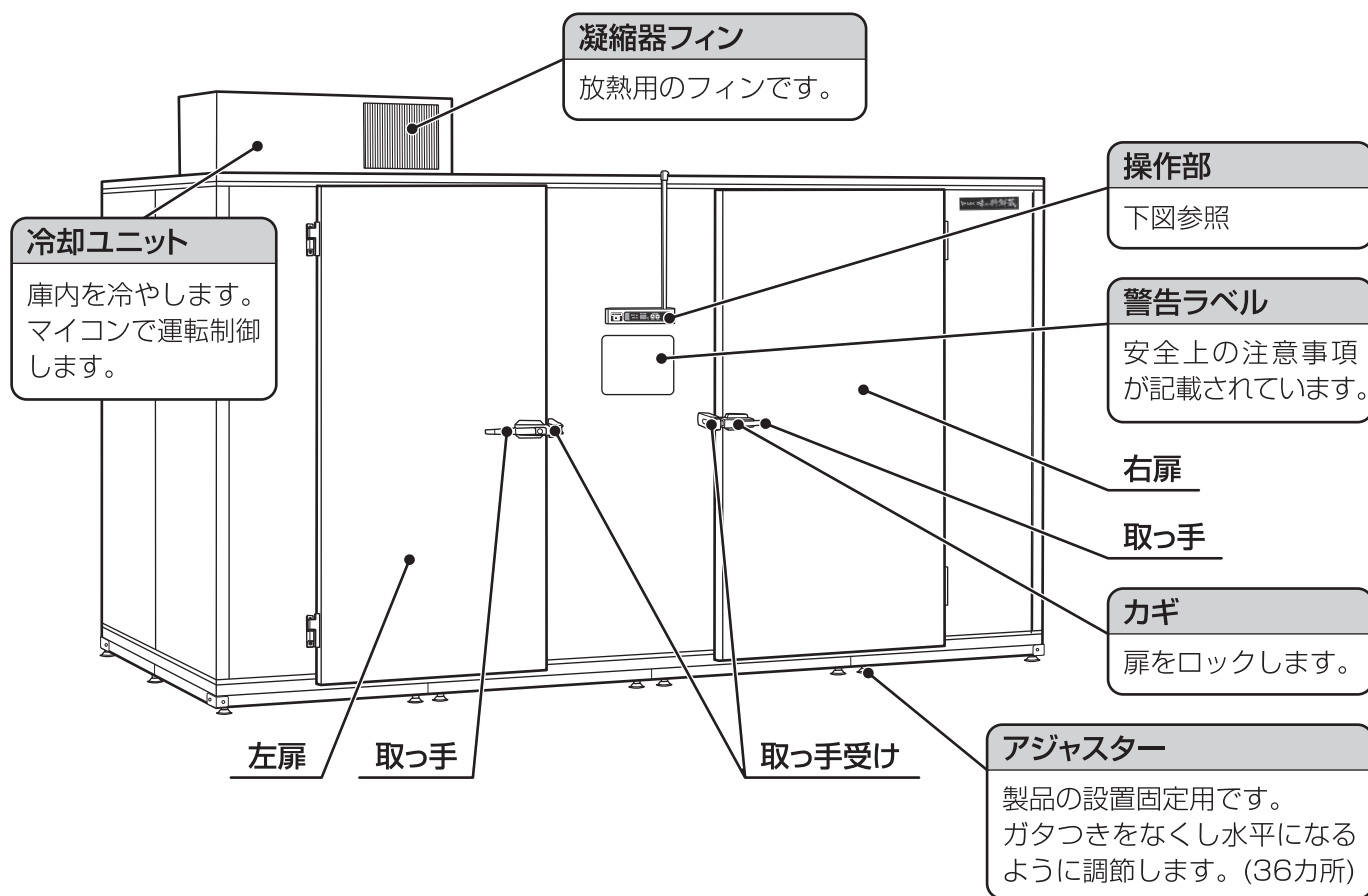
- お手入れするときは、専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。
- 庫内灯のお手入れのときは、庫内灯用スイッチを切り電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。
- 長期間使用しないときは、必ず専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。
電源プラグにホコリがたまって発火・発熱の原因になることがあります。
- 異常時は、直ちに専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。
異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になることがあります。

フロン排出抑制法 第一種特定製品

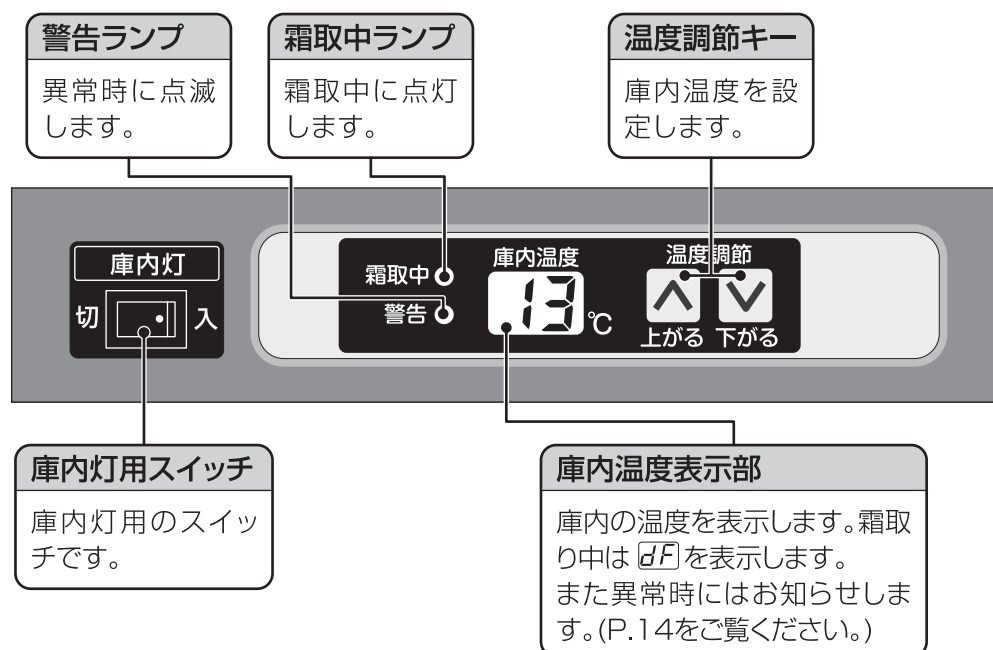
この製品には冷媒として、R134a(GWP値：1430)が使われています。

- (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2) この製品を廃棄・整備するときは、フロン類の回収が必要となります。
- (3) フロン類の種類および数量は、冷却ユニットに貼付のラベルに記載されています。

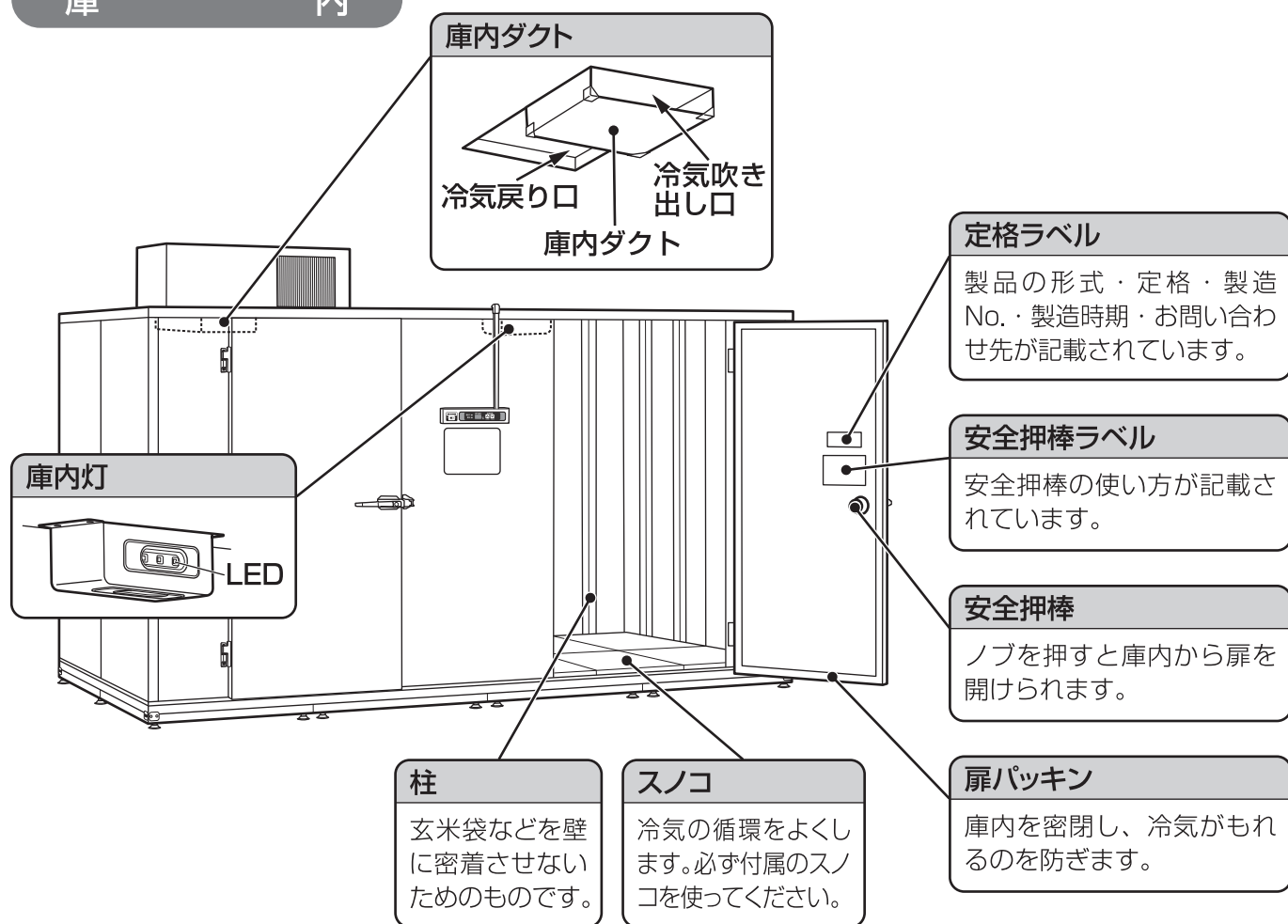
各部のなまえとはたらき



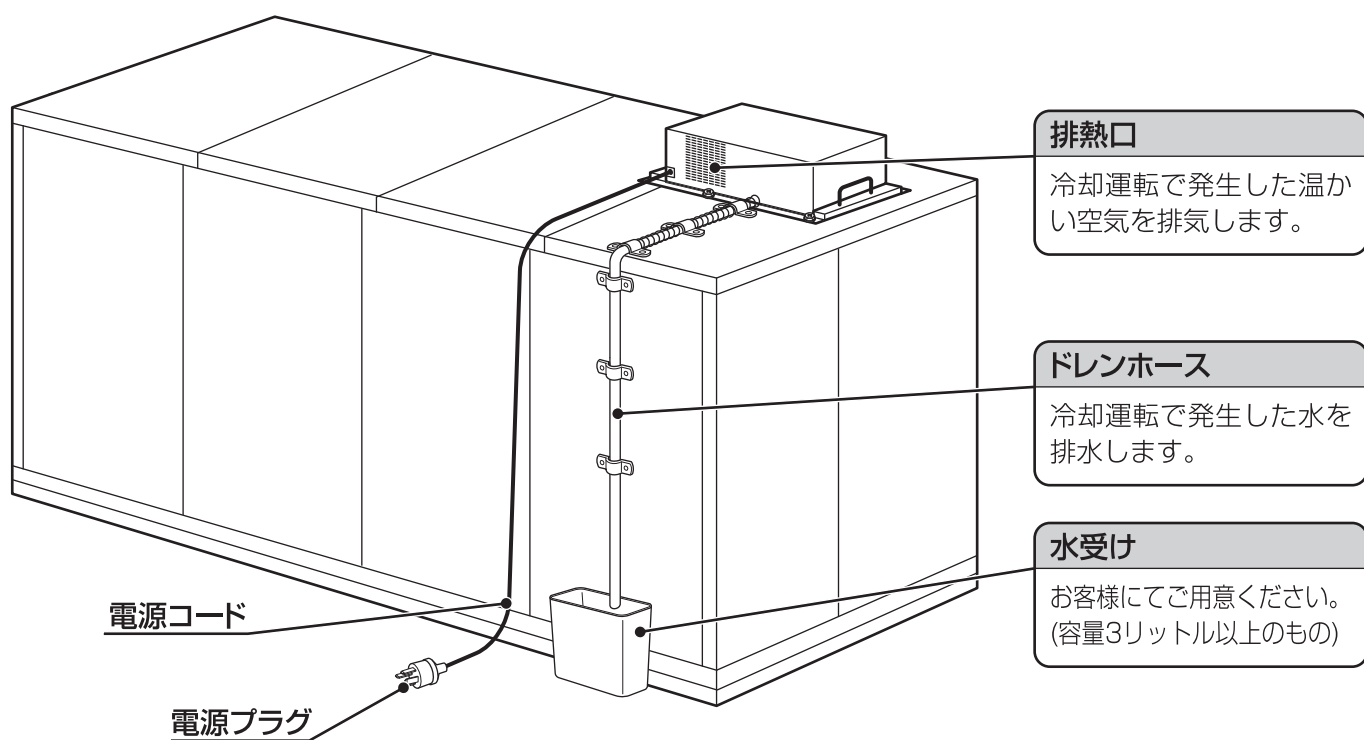
操 作 部



庫内



背面



ご使用方法

貯蔵するときのご注意

- この貯蔵庫は「玄米の貯蔵に適した環境(温度・湿度)を保つためのもの」であり、「お米の鮮度をよくするもの」、「おいしくするもの」ではありません。本書のご使用方法にしたがって正しく使用し、適切な管理を心がけてください。

玄米を貯蔵するときのご注意	
●玄米は水分を15.5%以下に乾燥してから貯蔵する。 水分が高いとカビが発生したり、固まったりして、品質が低下することがあります。	●玄米と野菜・果物を一緒に入れない。 庫内湿度が高くなり、玄米の品質が低下したり、カビが発生する原因になります。
●玄米は新しい紙袋を使って貯蔵する。 古い紙袋を使うとカビや害虫が発生することがあります。また、袋に入れないで貯蔵すると乾燥してしまいます。	●積み込み高さを守る。 庫内に表示している積み込み制限ラベルのラインを超えて積み込むと、冷気が循環できなくなり、冷えない場所ができてしまいます。特に冷気吹き出し口をふさがないように注意してください。
●害虫にご注意 この貯蔵庫は害虫の繁殖をおさえることはできませんが、貯蔵する前に発生していた害虫への殺虫能力はありません。	●扉はしっかり閉める。 扉が開いていると、庫内が冷えないだけでなく、外気の湿気が入り込み、結露が多く発生し、貯蔵物を湿らせてしまいます。
●扉の開閉は少なく、短くする。 玄米は湿気をきらいます。特に梅雨の時期や夏場は扉の開閉により多量の湿気が入り込みますので、開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。 扉の開閉頻度が多いときは、扉の内側・庫内天井面が結露し、滴下することがありますのでタオルなどで拭き取ってください。	重要 ●扉を閉めるときは本体とすき間ができないように静かに確実に閉めてください。

その他のご注意	
●酢・酢酸・イースト菌などを含んだ食品はラップなどで包むか、密閉容器に入れる。 酢・酢酸を含んだ食品や酸性物質を分泌させるイースト菌などを含んだ食品は、庫内部品のカビ・腐食や冷却ユニットの故障の原因になりますので、ラップで完全に包むか密閉容器に入れて貯蔵してください。	●熱い物は冷ましてから入れる。 庫内の温度が上がり、電気代のムダになります。炊きあがり直後の玄米は熱を持っていますので、冷ましてから貯蔵してください。
●貯蔵物はすき間をあける。 つめすぎると冷えにくくなり、温度ムラが発生する原因になりますので、すき間を開けて貯蔵してください。	

精米をするときのご注意

●玄米の急激な温度変化は避ける。

冷えた玄米を外気にさらすと結露をおこすことがあります。この状態のまますぐに精米をおこなうと玄米が胴割れしたり、循環式精米機の内部が結露するなどして安定した精米ができないことがあります。特に初夏から夏にかけては、玄米の袋が湿ることがありますので、涼しい早朝や夕方に取り出し、24時間以上（開封しない状態で）外気になじませてから精米してください。また、できるだけ涼しい時間帯に精米してください。

保冷していた玄米を常温に戻して精米をおこなっても食味に影響はありません。

運転する前に知っておいていただきたいこと

運転をするとき

- 専用回路の安全ブレーカーが「OFF」になっていることを確認してから、コンセントに電源プラグを差し込み、安全ブレーカーを「ON」にします。

運転を停止するとき

- 専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜いてください。
- ※運転が停止する前の設定温度を記憶していますので、再び電源プラグを差し込んでから安全ブレーカーを「ON」にすると、停止する前の設定温度で運転します。

設定温度の変更について

- 設定温度は運転中でも5℃～18℃の間で1℃ずつ自由に変えることができます。

湿度について

- 庫内の湿度は扉の開閉頻度や周囲温度・湿度によって変わります。

温度表示について

- 庫内温度表示部には現在の庫内温度が表示されます。
冬期など周囲温度が設定温度より低いときは、庫内の温度は周囲温度と同じ温度になりますが、異常ではありません。
- ※霜取り中は  を表示します。
- ※異常時にはお知らせします。(P.14をご覧ください。)

玄米の貯蔵について

- 玄米を貯蔵するときは、玄米の貯蔵に最適な温度[13℃]に設定してお使いください。
- ※最適な温度[13℃]とは、玄米の酸化、カビや害虫の繁殖をおさえ、電気代を考慮した温度です。

扉について

- 扉を開いたとき、開いた角度が約120°～150°までは扉の自重で閉まります。それ以上に開いたときはその状態を保持します。

運転がはじまると

- 設定温度になるよう自動的に冷却運転をおこないません。(表示部は現在の庫内温度が表示されます。)
- 周囲温度35℃で玄米を規定量入れて運転すると、庫内温度は約20時間で13℃まで下がります。袋の中心部が13℃まで下がるには約4～6日かかります。

停電したときは

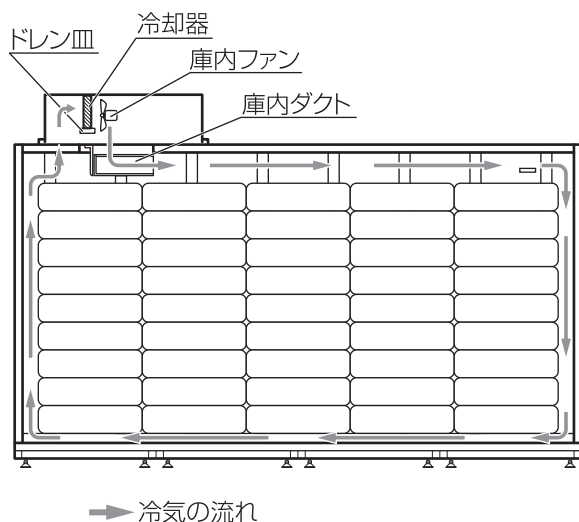
- 扉の開閉や貯蔵物の追加をひかえてください。停電が回復すればそれまで運転していた設定温度で自動的に運転を再開します。

雷が鳴りだしたら

- 落雷のおそれのあるときは、製品保護のため専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜いてください。

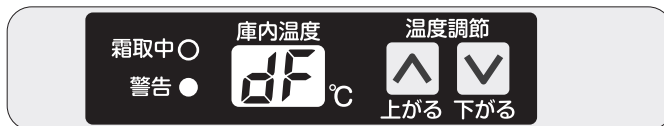
ご使用方法

霜取りについて



- 冷却器の霜取りは2～3時間ごとに自動的におこなわれます。このとき操作部は霜取中ランプが点灯し、庫内温度表示部は **dF** と表示しています。

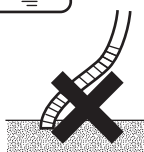
操作部



- 霜取り中は扉の開閉をおこなわないでください。
- 霜取りがおこなわれると、冷却器に付いた霜が水滴となってドレン皿にたまり、その後ドレンホースから排出されます。
- 霜取りが終わると通常運転になります。
- 霜取りの途中で運転を停止しないでください。冷却器に霜が残ってしまい、次にお使いのとき冷えない原因になることがあります。

ドレンホースに関する注意事項

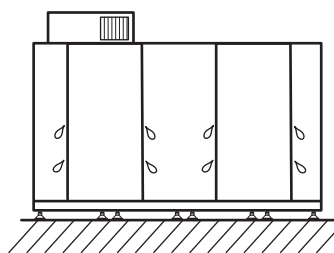
- ドレンホースが確実に取り付けられているか、先が曲がっていたり、水受けにたまった水の中に入っていないか確認してください。
- 先端を土中に埋めないでください。



- ペットボトルや一升ビンなどの口の小さなものは、水受けとして使用しないでください。
- 水受けにたまった水は、いっばいになる前に捨ててください。
- 先端を巻かないでください。



結露について



- 温度・湿度が高いとき(特に梅雨の時期や夏場)、風通しの悪い場所では製品の外側や扉回りが結露することがあります。これは自然現象であり、故障ではありません。このようなときは、タオルで拭き取ってください。結露が激しいときは、風通しをよくしたり、換気装置を設けてください。

次のことは故障ではありません

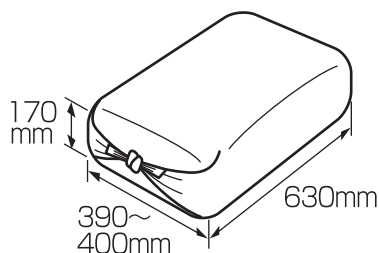
- 冷却運転が始まると冷却ユニットから水の流れるような音がすることがありますが、冷媒が流れているため故障ではありません。
- 庫内温度が設定温度よりも低く、冷却運転をしないときに庫内ファンが回ることがありますが、これは庫内の温度を均一にするための制御で故障ではありません。
- 設定を変えた後、すぐに冷却運転を開始しないことがありますが、これは冷却ユニットを保護するための制御で故障ではありません。約3分後に運転を開始します。
- 扉の開閉によって、一時的に庫内温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

玄米袋について

●玄米袋の基準寸法について

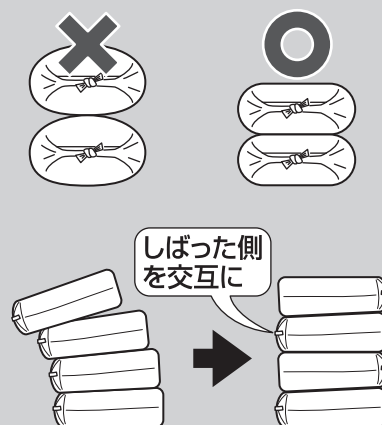
玄米30kg入紙袋の寸法は、右図の通り「幅390～400×長さ630×高さ170mm」に設定しています。

※玄米を30kg入れたときの寸法です。



重要

- 玄米袋はできるだけ平らになるようにしばり、基準寸法になるように形を整えながら積み込んでください。
基準寸法を超え、丸く膨らんだ形で積み込むと不安定になり袋が崩れたり、規定の収納量まで積み込めないことがあります。
- 玄米袋が崩れやすいときは、しばった側を交互に積み込むと崩れにくくなります。

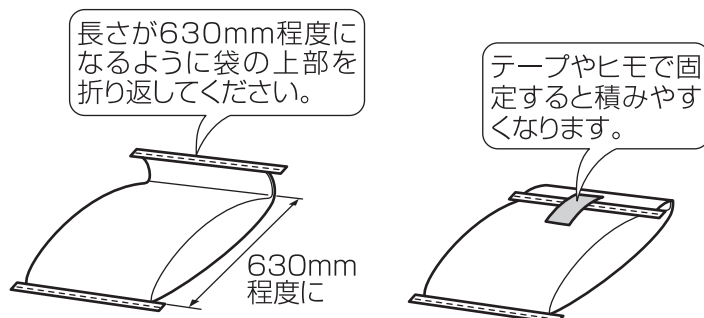


玄米袋の形の整え方

- ① 玄米袋を立てて置き、空気を抜きます。
- ② あまった部分を内側に向かってしっかりと3回折り曲げます。
- ③ 両端を内側に折り込みます。
- ④ 口ひもを2回からませ、しばります。
- ⑤ 玄米袋を横に倒し、平らに形を整えます。

ミシン縫いの玄米袋をご使用の方へ

ミシン縫いの米袋は玄米30kg入紙袋より袋の寸法が大きいため、玄米袋の基準寸法と比べて、幅と長さは大きく、高さは低くなります。袋の上部を折り返すなどして、長さが630mm程度になるように形を整えながら積み込んでください。



ご使用方法

玄米袋の積み込みかた

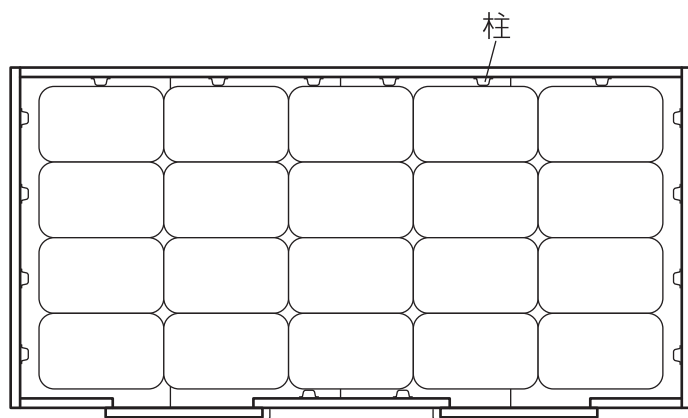
30kg紙袋収納量	積み込みかた
180袋	20列・9段

- 積み込んだ玄米袋が扉にあたらないことを確認してから閉めてください。

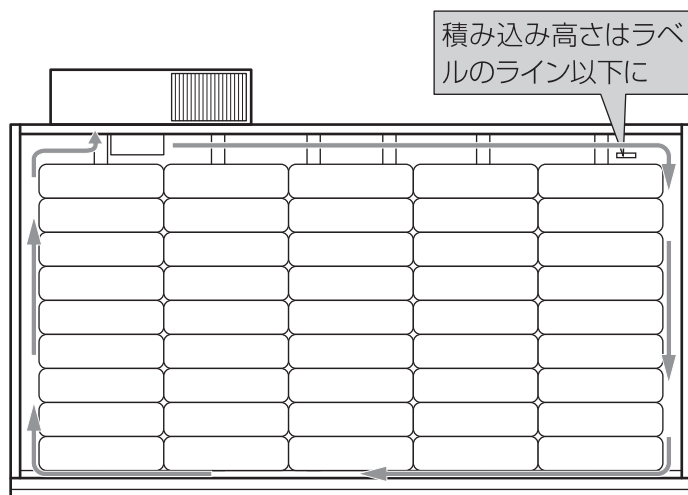
重要

- 冷気が充分循環するように、必ず付属のスノコを使用し、積み込み制限ラベルのライン以下で、扉から5cm以上すき間をあけて積んでください。

上から見たところ



正面から見たところ



➡ 冷気の流れ

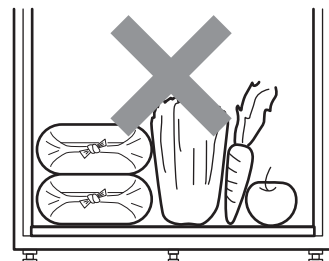
その他のご注意

野菜・果物などの一時保冷・予冷について

- この製品は、野菜・果物などの一時保冷ができますが、野菜・果物の種類により、適した保冷期間・温度・湿度が異なりますので充分注意してください。
- 野菜・果物の貯蔵はポリエチレンシートやポリ袋で包装してください。水分を多く含んだ農産物をそのままの状態（場合によっては霧吹きをしながら）貯蔵したり、乾燥させながら保冷する目的でお使いになると短時間で庫内湿度が高くなり、冷却器に霜が付いて冷えない原因になります。
- 貯蔵物を入れるときは、庫内が冷えてから入れてください。貯蔵物を入れてから電源を入れると庫内が冷えるまで時間がかかります。

重要

- 玄米と野菜・果物などを一緒に入れないでください。玄米にカビが発生するおそれがあります。
- 野菜・果物は必ずポリエチレンシートやポリ袋で包装して貯蔵してください。そのまま貯蔵すると乾燥したり、しおれの原因になります。



この製品は野菜・果物などの予冷には適しておりません。

- 保冷とは、玄米・野菜・果物などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- 予冷とは収穫後の野菜・果物を輸送や貯蔵の前に急速に冷却し、品温を下げることをいいます。

加温について

- この製品は加温することはできません。冬期など周囲温度が設定温度より低いときは、庫内の温度は周囲温度と同じ温度になります。周囲温度が設定温度より高くなると自動的に冷却運転がはじまります。

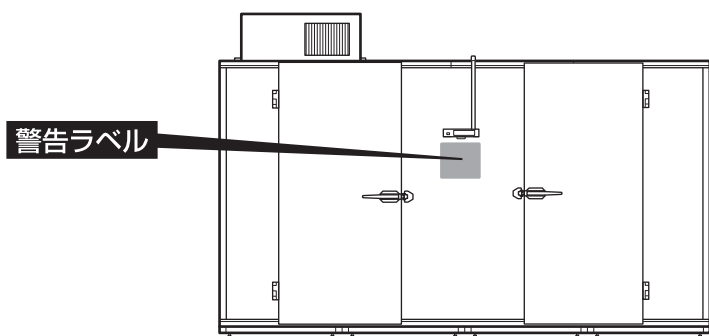
キーの保管について

- キーを4個付属しています。使用しないキーは予備としてなくさないように大切に保管してください。キーを紛失したときは、お買い上げの販売店または裏表紙にあるお客様相談窓口にご相談ください。

警告ラベルについて

- 警告ラベルは特に重要と考えられる事項について記載しています。必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- 警告ラベルが汚れたり、はがれたときはお買い上げの販売店へ注文してください。

警告ラベルの貼付位置



ご使用方法

運転のしかた

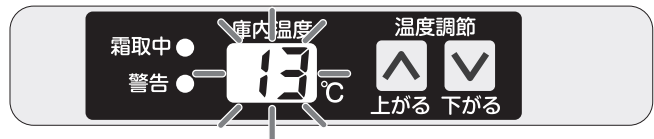
- 1 専用回路の安全ブレーカーが「OFF」になっていることを確認します。
- 2 コンセントに電源プラグを確実に差し込みます。
- 3 安全ブレーカーを「ON」にします。
安全ブレーカーを「ON」にすると、庫内温度表示部に設定温度が5秒間点滅します。

はじめて電源を入れたとき

- 庫内温度表示部に「13」が点滅します。



5秒後
自動的に運転がはじまります。



- 庫内温度表示部には現在の庫内温度が表示され、徐々に13℃に向かいます。
※冬期など周囲温度が13℃より低いときは、冷却運転をおこないません。

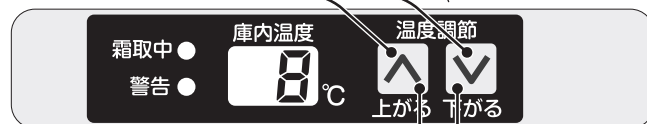
設定温度を変えたいとき

1 温度調節キーを押します。

- 庫内温度表示部には現在の設定温度が点滅表示します。
※このとき運転は続けています。

点滅中に(5秒以内に) 2へ

どちらか一方を一度押す。
(下図は設定温度を8℃にしたときを示します。)



2 温度を設定します。

5～18℃の範囲で設定してください。

押すと設定温度
が上がります。
↑
上がる

押すと設定温度
が下がります。
↓
下がる

最後の設定が終わって5秒後
自動的に新しい設定温度での運転がはじまります。

- 徐々に設定温度に向かいます。
※庫内温度が設定温度より低いときは、冷却運転をおこないません。
庫内温度表示部には設定温度より低い温度を表示します。

庫内湿度の目安

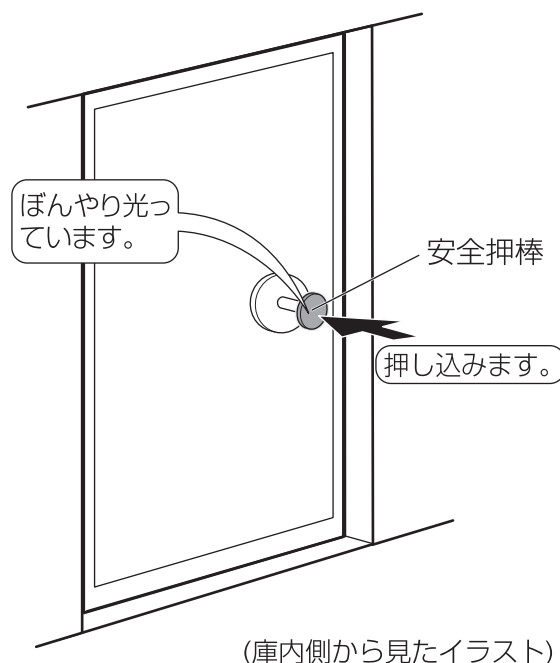
- 玄米の貯蔵に適した湿度約60～70%で運転しますが、参考値です。
扉の開閉頻度や周囲の温度・湿度によって変わります。

安全押棒の使いかた

- 万一、庫内で作業中、扉がしまり、閉じ込められてしまったときは、安全押棒を押して外に出てください。

ご 注 意

- 安全押棒のノブには蓄光剤が入っており、ぼんやり光っています。すぐに消えることはありませんが、取り込んだ光の量によって光っている時間が異なります。
 - 子供の力では押すことがむずかしい場合がありますので、充分注意してください。
-
- 安全押棒を強くいっぱいまで押し込むと扉が開きます。



庫内灯の使いかた

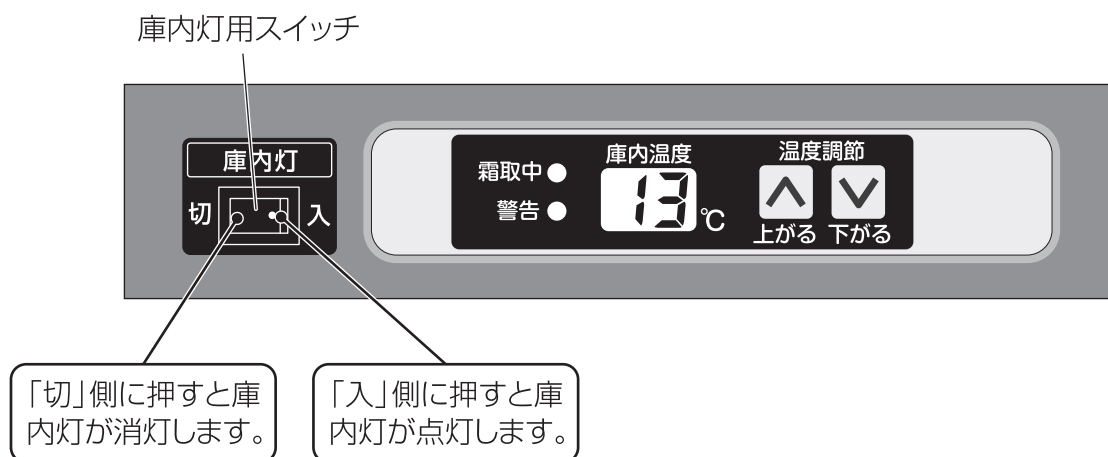
※庫内灯は冷却ユニットの電源プラグをコンセントに差し込んでいないと点灯しません。

庫内灯のつけ方

- 庫内灯用スイッチを「入」側に押します。

庫内灯の消し方

- 庫内灯用スイッチを「切」側に押します。



点検とお手入れのしかた

点検について

- 次の項目は特に重要です。日常のお手入れのほかに定期的に点検してください。

点 検 箇 所	点 検 内 容	処 置
ドレンホース	● ドレンホースの先端が水受けの水の中に入っていないか。	● 水受けの水をすてる。
	● 取り付け部などに水もれがないか。	● 水もれしているときはお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡する。
	● ゴミがつまっていないか。	● ゴミを取り除く。
電 源 プ ラ グ	● 接続部が抜けかかっているか。	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
	● 刃部にホコリが付着していないか。	● 刃部のホコリを取り除く。
電 源 コ ー ド	● 傷んでいないか。	● 傷んでいるときはお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡する。

詳しくは [P.1～2 安全のために必ずお守りください] に記載されていますので、よくお読みください。

原因がわからないときや処置が難しいときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

お手入れについて

 警告	 水ぬれ禁止	● 製品に直接水をかけて洗わない。 感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。	 注意	 電源プラグを抜く	● お手入れするときは、専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。 感電の原因になることがあります。
	 分解禁止	● お客様ご自身で分解したり修理・改造は絶対しない。 異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。 修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご相談ください。		 接触禁止	● 凝縮器フィンを直接手でさわらない。 ケガの原因になることがあります。

本体・扉・扉パッキン・庫内の清掃……汚れたら

- 台所用中性洗剤(食器用・調理器具用)をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布をひたし、よくしぼってから拭き取ってください。

スノコの清掃……汚れたら

- スノコを取り出して掃除機やブラシを使ってホコリを取り除いてください。また、汚れがひどいときは水またはぬるま湯を使って丸洗いをしてください。

庫内に戻すときは水分を取り、充分乾燥させてから、平らな面を上にして置いてください。

冷却ユニット凝縮器フィン・排熱口の点検と清掃……必ず1カ月に一度

- 凝縮器フィン・排熱口についたホコリは掃除機と柔らかい毛のブラシを使って取り除いてください。
- ブラシでホコリを取り除くときは、凝縮器フィンに沿ってやさしく動かしてください。

お 願 い

- シンナー・ベンジン・クレンザー・漂白剤・たわし・化学ぞうきんなどは、表面を傷付けますので使用しないでください。
- 庫内は、汚れがひどかったり、水分が多く付着しているとカビやサビが発生することがありますので、いつもきれいにしておいてください。
- 扉パッキンは引っぱったり、変形させないでください。冷氣もれ、庫内の結露、性能低下の原因になることがあります。
- 凝縮器フィンは変形させないでください。
刃物や先の鋭いものは使わないでください。変形や破損させると故障の原因になります。

庫内温度表示部にこんな表示が出たときは

..... (表示)	 (内容)	 (処置)
 ● L表示している。	● 庫内温度が-9℃よりも低い状態になっています。(運転停止している。)	製品の異常ではありません。 冬期など外気温が低いときに表示することがあります。 庫内温度が設定温度より高くなると自動的に運転を開始します。
 ● H表示している。	● 庫内温度が40℃よりも高い状態になっています。(運転している。)	製品の異常ではありません。 庫内に熱いものを多量に入れたり、周囲が異常に高温になっていないか確認してください。
霜取中 ●  ● dF表示している。(霜取中ランプ点灯)	● 霜取り運転中です。	製品の異常ではありません。 霜取りが終わると通常運転になります。(P.7をご覧ください。)
警告   ● E0またはE1表示している。(警告ランプ点滅)	● 庫内温度検知部が故障しています。	非常運転に切り替わります。 お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。
警告   ● F0表示している。(警告ランプ点滅)	● 冷却ユニットの安全装置が作動しました。(製品保護のため運転を停止しています。)	安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜き、凝縮器フィン、排熱口周りの清掃をしてください。再度、電源を入れ「F0」が表示するときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へご連絡ください。
警告   ● F1と庫内温度が交互に表示している。(警告ランプ点滅)(25は例です。)	● 運転しているが、庫内温度が下がらない、または上昇している状態です。	扉が確実に閉まっているか確認してください。 数日しても表示が消えないときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。
 ● 88表示している。	● 電源が逆相になっています。	安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡していただくか、電気工事会社に点検を依頼してください。

非常運転について

- 庫内温度検知部が故障したときは非常運転に切り替わり、冷却運転を続けます。
これは今まで冷やしていた庫内の状態をできるだけ長く保つためですが、早めにお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。

修理を依頼されるまえに

「故障かな?」と思ったときは次の点をお確かめください。

- 次の点検をしてもなお不具合が生じるときは、お買い上げの販売店または裏表紙にあるお客様相談窓口にご相談・点検を依頼してください。
- ご自分での分解や修理は感電・火災の原因になりますので絶対にしないでください。

「庫内がまったく冷えない」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P.11
2 専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)が「OFF」になっていませんか。	2 専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)を「ON」にしてください。	P.11
3 庫内温度表示部の表示が消えていませんか。	3 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P.11

「温度が下がらない」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 貯蔵物を入れた直後ではありませんか。	1 温度が下がるまでお待ちください。	P.5・6
2 直射日光があたっていませんか。	2 直射日光があたらないようにしてください。	組立・設置説明書
3 周囲の風通しが悪くありませんか。	3 換気装置を設けて風通しをよくしてください。	組立・設置説明書
4 扉を頻繁に開けていませんか。	4 扉の開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。	P.5
5 凝縮器フィン・排熱口にホコリがたまっていたり、ふさいでいる物はありませんか。	5 ホコリまたはふさいでいる物を取り除いてください。	P.2・13
6 貯蔵物は決められた範囲を超えて積み込んでいませんか。	6 正しい積み方をしているか確認をして、積み込み過ぎた貯蔵物は取り出してください。	P.8・9
7 冷えた庫内に熱いもの(例: 炊き立ての玄米など)を入れていますか。	7 熱いものは室温まで冷ましてから入れてください。	P.5
8 扉はしっかり閉まっていますか。	8 扉を確実に閉めてください。	P.5
9 タコ足配線をしていませんか。	9 タコ足配線はやめてください。	P.1
10 不適切な延長コードを使っていますか。	10 適切な延長コードを使用してください。 (太さ2mm ² 以上、長さ10m以下)	P.1

「温度が下がりすぎている」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 周囲温度が設定温度より低くありませんか。	1 周囲温度によって庫内が冷やされているため故障ではありません。	P.6

「庫内に水滴が落ちてくる」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 扉がわずかに開いた状態ではありませんか。	1 庫内を乾燥したタオルで拭き取り、扉を確実に閉めてください。	P.5
2 ドレンホースにゴミがつまっていますか。	2 ドレンホースのゴミを取り除いてください。	P.13
3 ペットボトルや一升ビンなど口の小さなものを水受けとして使用していませんか。	3 口が広く、大きなものを水受けとして使用してください。	P.7
4 ドレンホースの先が上に曲がっていたり、水受けにたまった水の中に入っていないか。	4 曲がり直してください。 水受けにたまった水を捨ててください。	P.7・13

「庫内灯がつかない」こんなときに…

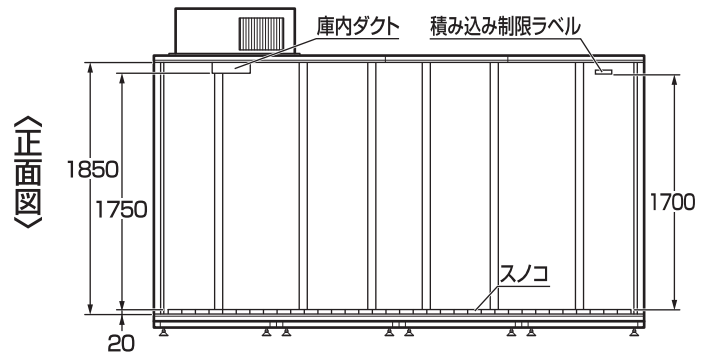
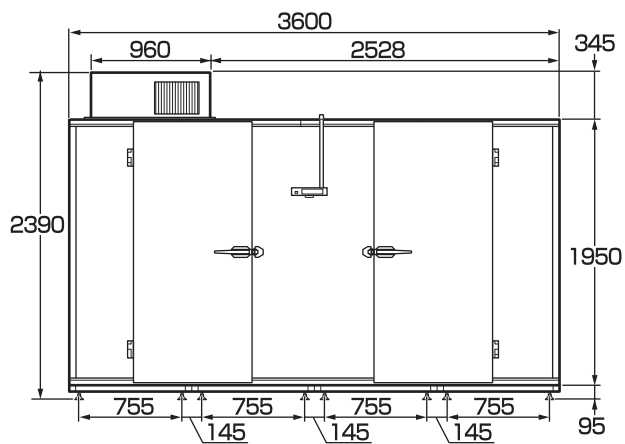
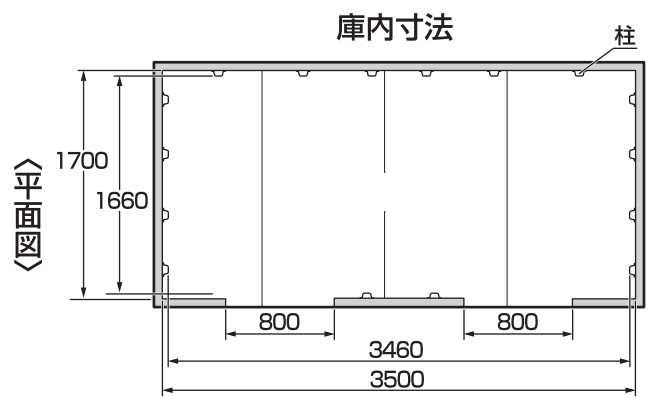
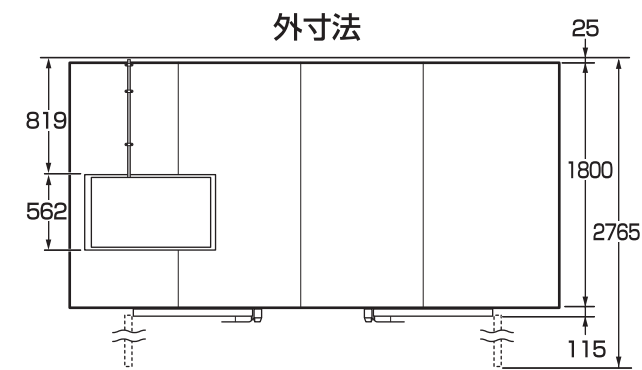
お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	1 電源プラグをコンセントへ差し込んでください。	P.11
2 専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)が「OFF」になっていませんか。	2 専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)を「ON」にしてください。	P.11
3 庫内灯用スイッチが入っていますか。	3 庫内灯用スイッチを入れてください。	P.12

仕様

形 式		ARS-11000D
定 格 内 容 量		10112L
玄 米 収 納 量	30kg入紙袋	180袋
	質量	5400kg
寸 法	外形寸法(幅×奥行×高さ)	3600×1940×2390mm
	本体寸法(幅×奥行×高さ)	3600×1915×2045mm
	本体内寸法(幅×奥行×高さ)	3500×1700×1850mm
製 品 質 量		約500kg
定 格 電 圧 ・ 周 波 数		三相200V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力		610W(50Hz)／710W(60Hz)
力 率		70%(50Hz)／70%(60Hz)
起 動 電 圧 許 容 範 囲		180～220V
使 用 冷 媒		R134a
電 源 コ ー ド		約7m
推 奨 設 置 環 境	温 湿 度	周囲温度35℃以下、周囲相対湿度90%RH以下
	設 置 場 所	直射日光が当たらない屋内
設 定 温 度 範 囲		5℃～18℃(1℃単位)
庫 内 湿 度 (周囲温度25℃時の目安)		約60～70%
付 属 品		●庫内灯 ●スノコ(プラスチック製) ●キー(4個) ●取扱説明書 ●組立・設置説明書 ●保証書

主要寸法図

ARS-11000D (単位：mm)



アフターサービスと保証について

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品は、製造打切後最低9年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料で修理いたします。

保証について

- この製品は保証書付きです。
- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から3年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にて修理をご依頼ください。
- 貯蔵物の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。

廃棄などについて

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。(処理費用は有償です)

※不法投棄した場合、5年以下の懲役または1000万円以下の罰金など、厳しく罰せられます。

こんな症状はありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 製品にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

こんなときは

このような症状のときは専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にて点検をご相談ください。

お客様相談窓口

この製品の使用方法・アフターサービス並びに品質に関するお問い合わせは、

エムケー精工 お客様相談窓口

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825

フリーダイヤル ☎0120-70-4040

■通常電話番号 026(272)4111(代表)

■FAX 026(274)7089

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
(祝日および弊社休業日を除く)

Let's enjoy the future!



エムケー精工株式会社

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825
TEL 026(272)4111(代)
FAX 026(274)7089(代)

[支店]

札幌支店	〒004-0841	札幌市清田区清田一条1-9-21	TEL 011(881)7311
仙台支店	〒983-0023	仙台市宮城野区福田町4-14-22	TEL 022(258)3861
東京支店	〒125-0062	東京都葛飾区青戸8-3-5MK東京ビル3F	TEL 03(3604)6441
静岡支店	〒422-8035	静岡市駿河区宮竹1-13-5	TEL 054(238)0111
新潟支店	〒950-0923	新潟市中央区姥ヶ山2-18-15	TEL 025(287)0911
長野支店	〒387-0007	長野県千曲市大字屋代4299-1	TEL 026(272)8701
名古屋支店	〒453-0855	名古屋市中村区烏森町6-109	TEL 052(461)7261
金沢支店	〒920-0025	金沢市駅西本町2-8-8	TEL 076(264)1115
大阪支店	〒564-0043	大阪府吹田市南吹田3-6-4	TEL 06(6386)5800
広島支店	〒731-0138	広島市安佐南区祇園3-36-28	TEL 082(871)7355
福岡支店	〒812-0061	福岡市東区筥松1-2-31	TEL 092(612)1077

[営業所]

高松営業所 〒761-8062 高松市室新町3-5 B棟102 TEL 087(868)6781